

様式1(主な取組)

活動指標名	奄美と沖縄の世界自然遺産次世代継承交流事業の世界自然遺産子どもサミット				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	0	0	0	-	-		0	未着手	新型コロナウイルス感染症拡大のため事業を廃止した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
										進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 ・事業継続に向けて、鹿児島県とも意見交換を行いながら検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えなかったことから、やむを得ず事業を廃止した。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から人を集める交流が厳しい状況にあるため、新たな手法による事業継続を模索する必要がある、鹿児島県と事業継続意向調整等が必要。 ・本事業対象地域（関係団体含む）が沖縄県4市町村、鹿児島県8市町村あり、両県連携が必要なことから、今後もより一層きめ細やかなフォロー体制を構築し、鹿児島県側と定期的な意見交換を実施する。 								<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続に向けて、鹿児島県とも意見交換を行いながら検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えなかったことから、やむを得ず事業を廃止した。 		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・新型コロナウイルス感染症拡大のため、オンラインによっても、密になることが避けられないため、交流は難しい。自然環境保全に対する認識を深めるためには、実際に自分の目で見て、触れるなど、実際に体験することが重要である。

○外部環境の変化

・新型コロナの影響により対面での交流が難しい。令和3年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録された。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業は廃止となったが、貴重な自然を守り続けるためには、子どもの頃から認識を深めることが大切であることから、今後、良好な自然環境を次世代へ継承するための普及啓発等を行うなど、他の方法で取組を行っていく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・貴重な自然を守り続けるためには、子どもの頃から認識を深めることが大切であることから、今後、良好な自然環境を次世代へ継承するための普及啓発等を行うなど、他の事業で取組を行っていくことを検討していく必要がある。